

別紙1 システム仕様書

項目	仕様書
全般	土木工事積算体系へ対応した設計書の作成ができること。
	上記大系に対し、独自の体系（積み上げ）を追加することができること。
	新旧タイプの積み上げ型の設計書作成もできること。
	設計書を複写・統合・削除することができること。
	パスワード等によるセキュリティ対策ができること。
	ユーザーに付与された権限により、設計書の閲覧及び編集制御を行うことができること。（プール機能）
	不慮によるトラブルの際、設計書リカバリー機能を有していること。
	全ての歩掛において、歩掛の条件選択画面を設け、条件選択により単価表を自動生成できるようにすること。
	前世代からの積算書を現世代に複写し、最新の単価・最新の歩掛に自動変換できること。
	既存工事データが新システムとなった場合に移行（複写）または保存ができること。（移行が困難な場合は、建設課と協議により可能な限り移行する設計書を減らすこととす
	管理
作成した設計書の保存ができること。	
設計書データに権限管理出来る機能を有すること。	
設計書作成	設計書の鏡は大洲市独自のフォーマットに対応すること。ただし、大洲市は様式の統一を図るため、鏡はシステム内に標準装備し、変更可能なエクセルやワード等への出力は不可とする。
	設計書作成において、歩掛、単価検索が容易にできること。
	工事価格の直接入力から直接工事費の逆計算ができること。
	設計書内で削除された歩掛を記憶し、設計書内に再利用ができる機能を有すること。
	設計書で作成した歩掛を任意に選択し、夜間設定（割り増し、「夜間」文字表示）や取り消しが自由に行えること。
	設計書作成画面で工事価格費のリアルタイム計算及び表示ができること。
	5工区程度の案分設計書ができること。
	1 設計書内において、違う年度の歩掛や単価を混在することのできる機能を有すること。
	設計書作成において、歩掛、単価名称等自由に変更できる機能を有すること。
	年度や単価の違う変更設計書の内容を反映し、再計算できること。
	起工設計書に年度が違う変更設計書の内容を反映できること。
変更設計書の作成	変更設計書を作成することができること。（当初設計書とは別途に変更設計書を作成できること。）
	変更設計書は複数回数作成できること。
	変更設計書作成において、画面上で当初と変更が比較表示できること。
出来形設計書の作成	出来高設計書を作成することができること。
	出来高計算書を複数回作成できること。

別紙1 システム仕様書

項目	仕様書
内訳書	同一設計書内・他設計書内の明細行・施工単価・基礎単価を複写することができること。
	明細行の挿入・追加・削除・複写・貼付・並び替え等編集ができること。
	摘要欄にコメントを入力することができること。
基礎単価	愛媛県「実施設計単価表」、「市場単価」等に対応していること。
	大洲市（各支所）で使用する地区単価に対応していること。
	建設機械等損料算定表に対応していること。
	すべての単価データに根拠ページを登録し設計書に反映されること。損料についても同様の扱いとする。また使用を予定している5年間すべての単価に適用できること。
	基礎単価を階層順に検索及び選択できること。
	労務単価や材料単価の単価補正（夜間補正・変化率補正）を行うことができること。
	基礎単価の取込みを行った後、名称・規格名称を変更することができ、設計書の出力時に反映されること。
	任意に作成した基礎単価を登録し、標準の基礎単価と同じように利用できること。
	大洲市で採用している「見積単価」に対応できること。
	「推進工事用機械器具等基礎価格表」に対応できること。
歩掛	大洲市が指定する以下の資料に基づいた歩掛に対応すること。
	「土木工事標準積算基準書」（Ⅰ）（Ⅱ）（愛媛県）
	「土木工事標準積算基準（運用編及び積算編）」
	「省略しうる単価表」
	「下水道設計標準歩掛表」第1巻、第3巻、参考資料
	「設計業務等標準積算基準」（愛媛県）
	「用地調査等業務積算資料」
	「災害査定設計標準歩掛表」
	「災害査定総合単価」
	「水道事業実務必携」（全国簡易水道協議会）
データチェック	「港湾請負工事積算基準」
	「漁港関係事業設計積算統一事項」
	「治山林道必携 設計積算編」
	「治山林道必携 調査・測量・設計編」
「土地改良工事積算基準（土木工事）」	
「土地改良工事積算基準（施設機械）」	
上記以上の歩掛が登録されていること。	
上記以上の歩掛すべてについて、根拠ページを登録し設計書に反映されること。また、使用予定をしている5年間すべての歩掛に適用すること。	
将来的に歩掛条件選択を適切にするための機能として、条件選択画面以外に基準書に掲載されているガイド文やガイド図など画面参照するための対応ができること。	
歩掛の条件入力時に未入力チェックができること。	
歩掛の条件選択の組み合わせ等矛盾がないかどうかのチェックができること。	
設計書内の数量未入力チェック機能を有すること。	
使用材料事に使用料や金額チェックできること。	

別紙1 システム仕様書

項目	仕様書
	設計積算書内の0円単価チェックができること。
計算	作成後の設計書単価世代を変更することができること。
	当初請負金額を入力することにより、変更請負金額の算出ができること。
	積算数量の表示桁数は、県積算基準で設定してある有効桁数の規定どおりであること。
	金額の端数処理は、県積算基準で設定してある端数処理の規定どおりであること。
	発生材（スクラップ等）を計上（マイナス計上）することができること。
	共通仮設費（率分）の対象額に含めない費用、共通仮設費(率分)及び現場管理費の対象額に含めない費用あるいは共通仮設費(率分)・現場管理費及び一般管理費等の対象額に含めない費用を計上ができること。
	1つの設計書をコピーして内容を複数に分割し、諸経費を算出することができること。
	大洲市独自の諸経費計算ができること。
経費調整	既存発注工事に対して追加工事を発注する場合の経費調整積算は、複数設計書指定ができること。
	調整後の工事価格を直接入力し、一般管理費等で目標額調整ができること。
	どの工事が経費調整されているか分かるように印刷できること。
	別世代の工事と経費調整ができること。
	諸経費案分表の作成ができ、案分表を保存できること。
	工事価格を直接入力し、直接工事費を逆算シュミレーションができること。
	一度経費計算した設計書の工種（経費の種類）を簡単に変更できること。
印刷	部数指定印刷、範囲指定印刷ができること。
	表紙から通し番号印刷の選択ができること。（表紙、理由書、内訳書、単価表と区切り印刷ができること。）
	金有り・金抜き設計書、設計書鏡、工事概要、本工事内訳表、明細書、施工単価一覧表、施工単価表、諸経費計算書、資源調書（材料明細書）、数量一覧表、等必要とする帳票の印刷ができること。
	設計書一部差し替え印刷機能を有すること。またページの保持やページの指定ができるものであること。
	設計書印刷フォーマットは複数種類あること。
	変更設計印刷時に、変更分のみ印刷ができること。
付加機能	内訳書などのデータをEXCEL形式によりエクスポートすることができること。
	検索機能は複数種類有り、基準書や単価表の目次順検索、曖昧キーワード検索の検索方法を有すること。
自動バックアップ	設計書データの自動バックアップ機能を有すること。
	システムダウン等により異常終了した場合でも、ダウン直前まで復帰できる機能を有すること。